

# 秋保大滝植物園だより No.4 もみじ号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は園内で見ることのできる紅葉(もみじ)の仲間です。※カエデ科はムクロジ科に変更されました



ハウチワカエデ【葉団扇楓】  
(別名：メイゲツカエデ) 葉柄は短い。葉は大きく、切れ込みが浅い。



イロハモミジ (別名：コハモミジ、タカオカエデ、イロハカエデ)  
葉は、先が尖り、掌状に5～7深裂する。園内に自生は無い。



オオモミジ【大紅葉】 イロハモミジの変種。イロハモミジより葉が大きく、7～9裂する。縁には細かくそろった鋸歯がある。



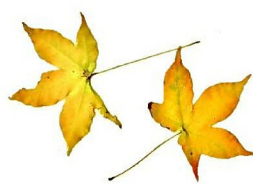
ヤマモミジ【山紅葉】 イロハモミジやオオモミジに似ているが、葉の縁は著しい重鋸歯、または欠刻状の鋸歯がある。



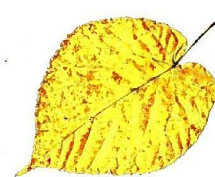
コハウチハカエデ【小葉団扇楓】  
(別名：イタヤマメイゲツ)  
葉柄に軟毛あり。葉は掌状に7～11裂する。



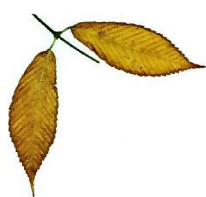
イタヤカエデ【板屋楓】  
葉は楕円形で、5～7中裂(又は浅裂)。葉の大きさや裂け方などは変異が多い。



ウラゲエンコウカエデ【裏毛猿猴楓】 イタヤカエデの変種。葉は掌状に5～7深裂。葉裏の脈基部と脈状に毛がある。



ヒトツバカエデ【一葉楓】  
(別名：マルバカエデ)  
葉は倒卵状円形で、切れ込みは全くない。基部は心形。



チドリノキ【千鳥の木】  
(別名：ヤマンバカエデ)  
葉は卵状長楕円形で平行する多数の側脈が目立つ。切れ込みはない



カジカエデ【梶楓】  
別名：オオモミジ 葉は掌状に5裂する。上部の3裂が大きい。



コミネカエデ【小峰楓】  
葉は5～8センチで、掌状に5深裂するものが多い。裂片の先は尖る。



ウリハダカエデ【瓜肌楓】  
葉の質はやや厚く、上部が浅く3裂する。樹皮が暗緑色でマクワウリの実に似ているのでこの名がある。



メグスリノキ【目薬の木】  
(別名：チョウジャノキ) 葉は3出複葉。裏面に灰褐色の毛が密生



ミツデカエデ【三手楓】  
葉は3出複葉。縁にはあらい鋸歯。裏面脈状には白い毛あり。



オオモミジ (品種名：ノムラ)  
古名はムサシノ(武蔵野)縁には細かくそろった鋸歯。裏面はやや光沢あり。



ヤマモミジ (品種名：ベニダレ)  
新芽は鮮やかな紅色で、開ききると紫紅色になる。葉は7～9全裂し裂片は細かい。ふちには欠刻状の鋸歯あり。



植物園の出入り口前の、イロハモミジの品種。4月下旬～5月上旬までの芽吹き期の深紅の色合いが最高のモミジ。秋の紅葉はあまり目立たない。



昨年仲間入りしたオオモミジの品種。春から秋まで赤い色を保つが、特に春と秋が最高。芝生広場の手前に植栽してある。



植物園出入り口付近のヤマモミジ。その年の昼夜の温度差によって色の変化がみられる。園内の自然林にも多く自生している。



芝生広場東のウリハダカエデ。ウリハダカエデは、黄色から橙色が主。紅葉の当り外れがなく毎年目を楽しませてくれる。